

教 育

1	概 况	399
2	青 少 年 育 成	400
3	学 校 教 育	403
4	函 書 館	418
5	熊 本 博 物 館	422

1 概況

少子高齢化に加え、グローバル化や情報化の進展など社会は著しく変化しており、子どもたちを取り巻く環境も、いじめの社会問題化や不登校の増加、インターネットを通じたトラブルなど多くの課題を抱えている。

これからの予測困難な時代の中で、子どもたちの健やかな成長は私たち大人に課せられた重要な使命である。社会の著しい変化に柔軟に対応できる必要な知識・技能の習得はもとより、思考力、判断力、表現力を伸ばすなど、主体的に社会の課題を解決する力を含め、自分の人生を描き、どう切り拓いていくかという、生き抜く力の育成が一層重要となる。

こうした背景を踏まえ、令和元年度（2019年度）には、熊本市総合計画の中間見直しを行った。中間見直し後の熊本市総合計画基本計画においても、3つのまちづくりの重点的取組のうち、「安心して暮らせるまちづくり」に具体的な取組を掲げて施策の展開を図っている。

教育委員会では、平成28年（2016年）3月に、本市の教育、文化及びスポーツの振興に関する総合的な目標や施策の基本となる指針として策定された「熊本市教育大綱」をもって熊本市教育振興基本計画に代えることとした。

令和2年（2020年）7月には、「熊本市教育大綱」の第1期4年間の計画期間満了に伴い、第2期となる「熊本市教育大綱」が策定された。策定にあたっては、本市市政運営の基本方針である「第7次総合計画」の中間見直しや国の第3次教育振興基本計画、新学習指導要領の内容等を踏まえ、施策を取りまとめ、熊本市教育振興基本計画についても新たに策定を行った。

【参考】

（1）熊本市教育振興基本計画（熊本市教育大綱）（令和2～5年度）

基本理念

豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む

（2）取組の方向

- 1 主体的に考え行動する力を育む教育の推進
- 2 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進
- 3 最適な教育環境の整備
- 4 学校教育と福祉の連携の推進
- 5 多彩な学習機会の提供と創造
- 6 豊かな市民生活を楽しむための文化の振興
- 7 生涯を通して健康に過ごすためのスポーツの振興

（3）重点的取組

- 1 いのちを大切にする心の教育の充実と、いじめや不登校への細やかな対応
- 2 確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進
- 3 教員が子どもと向き合うための体制の整備
- 4 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

2 青少年育成（青少年教育課）

心豊かなたくましい青少年を育むため、社会参加活動への支援や青少年育成環境の整備を進める。特に児童育成クラブの充実など、放課後児童対策を強化するとともに、多様な青少年問題に対応するため、青少年センター活動の中で非行・被害防止活動や広報啓発活動を充実させる。

（1）青少年健全育成推進事業

「生きる力」を備えた青少年の健全な育成が図られるよう、地域における青少年の活動を支援するとともに支援体制を整える。

ア 熊本市青少年問題協議会

熊本市青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法に基づく本市の附属機関として設置。青少年問題全般に関する協議を行うとともに、関係行政機関相互の情報共有を行う。事務局は本市青少年教育課に置く。

委員構成 市長・市議会議員・教育委員会委員・学識経験者・関係行政庁職員

任期 在職期間（ただし学識経験者は2年）

事業内容 協議会の開催

イ 熊本市青少年指導員協議会

熊本市青少年指導員協議会は、熊本市教育委員会から委嘱を受けた熊本市青少年指導員によって、自らの資質の向上と連携の強化を図るため、平成元年5月に自主的に結成された任意団体。

（2）児童育成クラブ

目的 放課後児童（保護者が労働等により昼間家庭にいない児童）とその保護者に対し、児童育成クラブを開設し、児童の健全育成及び仕事と子育ての両立を支援する。

開設日 4月1日～翌年3月31日（日曜日・国民の祝日・年末年始を除く）

開設時間 平日：児童の下校時間～午後6時〔延長時間 午後6時から午後7時〕

土曜日及び長期休業期間：午前8時～午後6時

支援員 533名（令4.5.1現在）

巡回指導員 17名（令4.5.1現在）

開設状況 （公営）80箇所6,015名 （民営）15箇所672名（令4.5.1現在）

※開設時間、支援員、巡回指導員については、各民営クラブにより異なる。

（3）青少年センター活動

ア 業務内容

街頭指導、関係機関及び団体との連携、青少年非行・被害防止に関する啓発活動、青少年指導にかかる調査及び資料収集、青少年に有害な影響を与える環境の浄化、その他青少年非行・被害防止のための必要な事項。

イ 熊本市青少年指導員

（令4.5.1現在）

身分	推薦について	人員(人)
有償ボランティア	校区青少年健全育成協議会及び自治協議会等の推薦	251
計		251

ウ 指導状況

① 実施状況

年度	H29	H30	R1	R2	R3
街頭指導実施状況					
年間街頭指導実施回数(回)	902	934	861	656	714
従事した青少年指導委員延人員(人)	4,038	4,404	3,987	1,877	1,938
指導した青少年の総数(人)	1,772	2,774	3,054	1,849	2,432

② 学職別・行為別指導状況

(単位 人)

学職別	行為別	喫煙	怠学	遊技施設内声かけ指導	交通指導	帰宅指導	その他	計
	年度							
小学生	R1	-	-	62	2	27	6	97
	R2	-	-	33	-	4	32	69
	R3	-	-	78	1	-	29	108
中学生	R1	-	1	414	-	66	40	521
	R2	-	-	185	3	3	21	212
	R3	7	-	274	3	3	64	351
高校生	R1	2	18	2,171	37	105	32	2,365
	R2	-	1	1,465	29	48	7	1,550
	R3	4	13	1,872	2	48	-	1,939
その他	R1	8	-	47	16	-	-	71
	R2	-	-	5	4	-	9	18
	R3	4	-	20	10	-	-	34
計	R1	10	19	2,694	55	198	78	3,054
	R2	-	1	1,688	36	55	69	1,849
	R3	15	13	2,244	16	51	93	2,432

エ 熊本市小学校生徒指導協議会・熊本市中学校生徒指導委員会・熊本市高等学校生活指導連盟との連携

熊本市小学校、中学校、高等学校における児童・生徒の指導を目的とした調査、研究、連絡調整等を行う教職員組織との相互連携による生徒指導活動を展開する。

オ 家庭環境づくりの啓発事業（健全育成懇談会～地域で育てる青少年～）

“非行防止は家庭から” “家庭づくりは親子の対話から”と言われるように、家庭のあり方が青少年に与える影響は大きなものがある。家庭における子どもの問題を中心に考えながら青少年の健全な育成と明るい家庭づくりについての話し合いの機会をもつために講師、助言者を派遣する。

(4) 家庭教育の推進

家庭の教育力向上のため、保護者等を対象にした家庭教育の大切さについて啓発するための学習機会や、情報を提供している。

ア 家庭教育セミナー

家庭教育力の向上のため、主に小・中学生の子どもを持つ保護者を対象に、子どもたちの持つ悩みや子どもとの接し方、また社会的ルールやしつけ等を学ぶ講座を実施している。小中学校やPTAとの連携により、保護者の多く集まる機会等を捉えた開催に努めている。

イ 家庭教育地域リーダーフォローアップ研修

地域の核となって家庭教育を推進する家庭教育地域リーダーのフォローアップ研修を実施している。令和3年度（2021年度）は、熊本市教育センターのYouTubeチャンネルを通じ、研修内容を動画で配信。

(5) 青少年教育

子どもたちが様々な野外体験活動等を通して、「生きる力」を育むことができるよう青少年活動（野外活動等）の安全で教育的効果の高い青少年活動を推進する。

ア 青少年教育施設

恵まれた自然環境の中で、集団生活を通じて青少年の健全な育成を図るために、小中学校の集団宿泊や青少年団体等を受け入れるとともに主催事業を行う。なお、全棟（体育室を除く）にわたる屋根の不具合に伴い、平成31年（2019年）4月15日から受け入れを中止している。（令和7年（2025年）4月共用開始予定。）

① 金峰山少年自然の家

所在地 西区池上町3071-5
 開設年月日 昭和50年（1975年）10月1日
 定員 200人
 施設内容 宿泊棟（児童用23室・引率者用2室・バリアフリー1室・バリアフリー浴室）
 研修室・体育室・食堂・浴室・保健室・事務室・つどいの広場・野外炊飯場
 屋外多目的ハウス

利用状況

(平31.4.1現在)

年度 団体名	H26		H27		H28		H29		H30	
	団体数	延人員 (人)								
小学校	96	23,322	87	22,156	87	13,667	70	16,736	78	20,891
中学校	3	262	10	1,670	3	340	2	240	3	308
少年団体	32	2,769	20	1,397	7	719	17	1,148	20	1,221
その他の団体	7	2,146	18	4,200	5	2,506	13	4,015	9	2,818
主催事業	15	1,684	12	1,048	6	338	9	760	11	1,012
合計	153	30,183	147	30,471	108	17,570	111	22,899	121	26,250
稼働率(%)	78.8		77.3		66.5		60.7		67.1	

(注) 稼働率(%) = (利用日数/開所日数) × 100

(6) 青少年の交流

国内外の友好姉妹都市との間で、青少年の交流活動を通して、両市の友好と親善を深める。

ア 国際交流（令和3年度（2021年度））

① 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業（オンライン交流）

実施日 令和3年（2021年）10月24日（日）
 令和3年（2021年）11月7日（日）
 令和3年（2021年）12月5日（日）
 令和4年（2022年）3月13日（日）
 参加者 18人（学生：熊本市14人、ハイデルベルク4人）

イ 国内交流（令和3年度（2021年度））

① 熊本市・福井市小学生交流事業（オンライン交流）

実施日 令和4年（2022年）1月16日（日）
 参加者 26人（小学生：熊本市13人、福井市13人）

3 学校教育

現在、Society5.0時代の到来といった急激な社会的変化が進む中、子どもたちが予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成することが求められており、それに対応し、学校教育も変化していかなければならない。

このような中で、今求められているのは、熊本市教育振興基本計画の基本理念「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」ことである。

そこで、以上のような視点を踏まえ、子ども一人一人の個性を生かしながら、豊かな人間性や創造性を育むきめ細かな教育を推進するため、令和2年（2020年）7月に策定した「熊本市教育振興基本計画（令和2～5年度）」に基づき、具体的な施策の展開を図っていく。

また、平成30年（2018年）3月に「学校改革！教員の時間創造プログラム」を、令和3年（2021年）3月には「第2期学校改革！教職員の時間創造プログラム」を策定し、教職員が心身ともに健康で、ゆとりを持って子どもたちと向き合える環境をつくっていくために、教職員の長時間勤務の実態改善に向けた取組を総合的かつ計画的に推進している。

令和4年度（2022年度）の主な事業は次のとおりである。

- ・自ら学びに向かう力を育む教育の推進（35人学級対応経費、高校等進学支援経費、高校改革関連経費）（学校施設課、指導課、教育センター、学校改革推進課）
- ・豊かな心と健やかな体を育む教育の推進（いのちを守る教育推進経費）（健康教育課）
- ・持続可能な社会の実現に貢献する力を育む教育の推進（水俣に学ぶ肥後っこ教室経費）（指導課）
- ・多様な教育的ニーズに対応した支援の拡充（いじめ・不登校対策経費、スクールソーシャルワーカー配置事業、スクールカウンセラー配置事業）（総合支援課）
- ・特別支援教育の推進（特別支援学級教室改修経費、スクールバス運行経費（あおば支援学校分））（学校施設課、総合支援課）
- ・働き方改革の推進（部活動指導員配置事業、学校給食費等管理経費）（指導課、健康教育課）
- ・安全安心な学校づくりの推進（緊急警報システム更新経費、学校トイレの洋式化（施設整備経費）、学校施設長寿命化関連経費）（健康教育課、学校施設課）
- ・生涯学習関連施設の機能充実（電子図書館拡充経費、特別展等開催経費）（図書館、博物館）
- ・青少年の健全育成（児童育成クラブ管理運営経費、児童育成クラブ施設整備経費、金峰山少年自然の家関連経費）（青少年教育課）

（1）市内学校数（指導課）

（令4.5.1現在）

校種別 区分	大 学	短 大	高 校	特別支援 学 校	中 学	小 学	幼	合計
国	1			1	1	1	1	5
県	1		11	4				16
市			2	2	42 (1)	92	6	144(1)
私	6	1	14		8		20	49
合計	8	1	27	7	51 (1)	93	27	214(1)

（注）（ ）は分校の数を別掲 区分中の「国」は独立行政法人（旧国立熊本大学）

教育

(2) 市立学校児童生徒数 (教職員課)

校種別 \ 区分	学校数	学級数	児童生徒	教員数
幼稚園	6	20	261	46
小学校	92	1,669	40,617	2,498
中学校	42 (1)	713	19,430	1,363
高等学校	2	42	1,636	114
特別支援学校	2	21	131	60
専修学校	1	7	141	11
合計	145 (1)	2,472	62,216	40,924

(注) () は分校の数

(令4.5.1現在)

(3) 児童生徒数の変遷 (教職員課)

区分	年度	年度				
		H30	R1	R2	R3	R4
児童生徒数	小学校	40,922	40,704	40,754	41,045	40,617
	中学校	18,932	19,044	19,358	19,077	19,430

(各年度 5.1現在)

(4) 学校施設の現況 (学校施設課・教職員課)

ア 小学校施設の現況

(令4.5.1現在)

番号	学校名	児童数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間照明施設開設年月
					校舎	屋内運動場		
1	壺川	396	25	16	4,341	594	9,104	
2	碩台	137	13	8	3,610	594	12,093	
3	白川	429	25	18	4,288	919	12,908	
4	城東	217	16	10	4,444	725	15,195	
5	慶徳	126	22	12	4,268	919	6,563	
6	一新	372	23	15	4,345	725	12,615	
7	五福	262	21	13	3,158	804	6,682	昭52.10
8	向山	463	25	17	4,123	725	16,652	
9	黒髪	408	31	16	5,477	796	10,472	
10	大江	713	38	26	4,691	725	11,724	
11	本荘	60	12	7	4,083	894	11,533	
12	春竹	491	32	20	5,444	1,049	15,465	
13	古町	122	14	8	2,840	532	11,184	
14	春日	285	20	15	4,349	725	14,224	昭49.9
15	城西	667	38	24	6,311	1,170	20,277	昭60.9
16	花園	403	25	16	4,893	945	17,199	昭57.10
17	池田	434	23	18	4,962	594	12,569	
18	出水	438	24	17	4,657	826	11,682	
19	白坪	427	29	18	5,658	945	16,004	
20	画函	998	52	38	6,775	919	17,278	昭54.10
21	砂取	417	26	17	4,686	1,119	18,074	
22	健軍	601	43	25	6,930	945	25,678	
23	清水	518	36	25	5,741	1,036	16,849	昭49.9
24	日吉	353	25	15	5,453	976	15,199	昭55.4
25	川尻	488	28	21	5,184	1,049	22,553	昭60.9
26	力合	529	33	22	5,001	594	16,836	昭60.4
27	御幸	647	31	23	4,939	1,039	18,787	昭52.10
28	田迎	416	21	15	4,619	1,203	13,513	昭62.3
29	高橋	99	11	7	1,912	666	7,271	
30	池上	243	17	12	3,705	919	16,088	平元.5
31	城山	685	36	26	5,347	924	24,427	昭57.4
32	託麻原	608	34	22	6,555	1,049	21,748	
33	秋津	604	33	22	4,933	923	16,104	
37	泉ヶ丘	403	23	15	4,844	919	18,362	
38	小島	286	24	16	3,130	1,093	12,462	
39	龍田	618	37	24	5,633	850	14,556	昭62.8
40	帯山	811	46	30	6,156	1,069	20,252	
41	中島	256	19	14	3,060	532	13,529	
42	白山	534	32	20	5,038	1,049	20,199	
43	若葉	391	23	16	4,619	1,049	18,784	
44	城北	415	25	17	5,422	1,017	18,958	昭60.9
45	尾ノ上	682	39	26	5,923	792	21,434	昭55.11
46	西原	657	40	25	5,215	792	19,084	昭49.9
47	高平台	649	31	23	5,370	945	26,678	昭49.9
48	楠	243	18	12	6,325	802	18,318	
49	託麻東	1,251	60	44	6,891	725	24,305	
50	託麻西	852	46	33	6,589	945	18,873	昭52.10

(令4.5.1現在)

番号	学校名	児童数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間 照明施設 開設年月
					校舎	屋内運動場		
51	託麻北	514	29	20	4,126	920	15,971	昭60. 4
52	桜木	444	26	20	6,361	725	20,806	昭49. 9
53	東町	588	39	24	5,945	1,436	20,272	昭54. 10
54	麻生田	429	28	17	5,221	945	20,193	
55	武蔵	379	22	16	4,971	945	18,102	
56	帯山西	525	30	21	4,319	725	17,965	
57	月出	441	28	19	5,916	945	24,258	昭55. 11
58	出水南	815	43	29	6,005	945	16,287	
59	健軍東	255	19	13	5,960	725	21,385	昭58. 3
60	城南	227	17	10	3,985	725	22,633	昭57. 12
61	田迎南	827	40	30	5,724	725	25,702	昭58. 3
62	弓削	260	21	12	3,012	695	18,594	昭58. 3
63	託麻南	961	52	35	7,073	725	21,601	昭60. 4
64	山ノ内	578	35	21	5,535	724	28,949	昭61. 10
65	榆木	517	30	21	3,824	918	18,859	
66	川上	562	31	22	4,667	745	24,479	
67	西里	304	22	15	4,375	1,161	35,546	平22撤去
68	北部東	732	38	28	4,976	1,337	19,179	
69	芳野	86	13	8	1,993	797	13,124	
70	河内	158	13	8	2,890	862	12,417	昭49. 3
71	飽田東	548	30	22	3,196	680	12,155	
72	飽田南	243	16	11	1,579	680	11,835	
73	飽田西	145	13	8	1,542	680	12,072	
74	中緑	43	8	5	1,560	401	9,738	
75	銭塘	115	13	8	2,179	378	12,246	
76	奥古閑	127	12	7	3,167	680	13,329	
77	川口	59	10	6	2,273	420	12,066	
78	長嶺	1,009	54	37	6,326	1,049	24,672	平17. 4
79	日吉東	491	27	20	3,799	919	26,118	
80	桜木東	561	32	21	3,456	919	26,103	
81	富合	812	41	28	4,043	919	22,239	
82	杉上	384	23	16	3,616	802	25,000	
83	隈庄	843	45	32	5,569	800	15,151	
84	豊田	220	19	11	3,469	800	23,084	
85	植木	378	26	14	3,611	919	20,728	
86	山本	81	9	6	2,582	797	14,595	
87	田原	88	17	8	2,607	797	23,182	
88	菱形	253	20	13	3,970	920	22,793	
89	桜井	338	23	15	4,090	920	24,413	
90	山東	156	15	8	3,320	922	22,154	
91	吉松	159	14	8	3,463	919	16,267	
92	田底	99	12	7	2,723	541	14,577	昭52. 6
93	田迎西	573	32	22	6,057	1,226	22,285	
94	力合西	705	39	28	4,711	1,199	33,342	
95	龍田西	481	27	20	6,333	1,201	23,029	
合計		40,617	2,498	1,669	418,056	79,359	1,659,839	

イ 中学校施設の現況

(令4.5.1現在)

番号	学校名	生徒数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間照明施設開設年月
					校舎	屋内運動場		
1	出水	933	52	30	7,386	1,322	25,654	昭48.10
2	白川	586	34	21	6,140	1,222	28,765	昭48.10
3	藤園	290	31	14	5,627	1,138	18,483	昭48.4
4	花陵	397	29	15	5,957	994	20,331	昭48.10
5	城南	393	29	14	6,038	1,138	24,459	昭47.10
6	京陵	672	43	23	7,673	1,222	29,457	昭48.4
	清水が丘分校	8	10	1	0	0	0	
7	西山	493	31	18	6,225	1,463	29,968	昭49.10
8	江南	220	20	9	3,519	1,138	23,240	昭48.4
9	江原	259	23	10	4,433	981	25,360	昭49.10
10	竜南	301	23	12	4,870	981	18,629	昭48.10
11	桜山	193	19	9	4,394	981	19,596	昭48.4
12	湖東	443	35	21	5,759	1,138	28,502	昭47.10
13	託麻	1,068	60	34	7,504	1,222	24,430	昭48.10
14	三和	541	36	17	4,715	981	21,813	昭48.4
15	城西	219	22	11	4,180	1,171	13,784	昭48.10
16	帯山	950	57	32	7,904	1,277	25,675	昭48.4
17	東野	458	31	16	5,816	1,222	19,304	昭48.10
18	錦ヶ丘	821	51	27	6,934	1,571	20,062	昭48.10
19	二岡	488	31	17	4,351	1,558	24,500	昭48.4
20	東部	422	30	16	4,704	734	21,422	
21	楠	389	26	14	6,939	724	24,570	平20.3
22	西原	622	43	21	6,943	1,124	29,588	
23	武蔵	333	26	13	4,864	780	22,407	昭56.6
24	東町	399	30	16	7,622	1,020	21,500	昭58.3
25	出水南	689	44	24	5,943	780	27,592	昭58.3
26	清水	462	31	16	6,294	1,222	22,702	
27	井芹	289	23	11	5,313	981	29,318	
28	北部	693	47	27	5,815	1,261	25,944	平19.10
29	芳野	27	12	4	2,458	910	31,550	昭55.5
30	河内	68	13	4	2,993	2,007	15,238	昭49.3
31	飽田	398	28	15	3,730	1,280	15,260	
32	天明	162	14	7	3,918	1,133	22,867	
33	長嶺	992	57	33	7,165	1,221	41,148	
34	力合	523	37	18	4,449	981	30,006	
35	龍田	609	40	23	5,056	981	27,384	平18.4
36	日吉	422	31	18	5,035	981	30,581	平17.4
37	桜木	502	30	18	5,752	981	26,307	
38	富合	357	26	12	3,995	1,368	31,915	昭58.8
39	下益城城南	567	41	21	6,894	1,772	28,777	
40	鹿南	295	25	12	5,178	981	28,885	
41	五霊	345	26	13	4,193	1,032	25,798	
42	植木北	132	16	6	3,293	984	26,209	
	合計	19,430	1,363	713	227,971	47,958	1,048,980	

※清水が丘分校の設置者は熊本県。

教育

ウ 幼稚園施設の現況

(令4.5.1現在)

番号	園名	園児数	教員数	学級数		園舎保有面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
				通常	通級		
1	碩台	25	8	3	3	817	1,272
2	一新	42	5	3		914	3,143
3	向山	29	12	3	7	893	2,943
4	川尻	35	8	3	3	788	2,380
5	楠	31	5	3		606	2,197
6	隈庄	99	8	5		875	3,341
合計		261	46	20	13	4,893	15,276

※ 碩台幼稚園 教員数には、ことばの教室の3人が含まれる。

※ 向山幼稚園 教員数には、ことばの教室の7人が含まれる。

※ 川尻幼稚園 教員数には、あゆみの教室の3人が含まれる。

エ 高等学校

市立必由館高等学校概要

明治44年(1911年)に創立し、創立111年という長い歴史と伝統を持つ高等学校であり、平成13年(2001年)には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科9クラス(普通科6、国際コース1、芸術コース1、服飾デザインコース1)編制となった。

多様化する生徒の進路希望に対応して、選択授業や少人数学習などを取り入れ、大学進学を目指した教育課程を編成するとともに、多彩な芸術・文化活動、体育活動にも力をいれており、輝かしい成果を残している。正しい判断力と真摯な実践力を身に付けるとともに、国際社会や地域社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に取り組んでいる。

市立千原台高等学校概要

昭和32年(1957年)に商業高校としてスタート以来65年目を迎えた高等学校であり、平成12年(2000年)には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科2クラス(国際経済コース1、健康スポーツコース1)、情報科3クラス(OA会計コース2、経営情報コース1)の二つの学科を持つ高校となった。

普通科においては、大学や専門学校など、コースの特性を生かして上級学校への進路希望の実現を図るとともに、情報科においても生徒のニーズに応じて、進学、就職に対応できるよう、専門教育を中心とした学習内容の充実に取り組んでいる。また、ハンドボールや陸上競技、自転車競技などスポーツの伝統校でもある。

施設の概要

(令4.5.1現在)

番号	学校名	生徒数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)
					校舎	屋内運動場	
1	必由館	1,055	69	27	14,520	2,546	70,085
2	千原台	581	45	15	7,071	3,774	55,434
合計		1,636	114	42	21,591	6,320	125,519

オ 特別支援学校

平成さくら支援学校概要

平成29年(2017年)4月に開校した知的障がいのある生徒を対象とする特別支援学校高等部である。普通科・一般学級を設置しており、1学年3学級編制である。

「自立・夢・挑戦」を校訓とし、夢を育み、何事にも挑戦していく生徒の育成をめざし、卒業後の自立と社会参加に向けて、家庭や地域と連携して、一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育を進めている。

施設の概要

(令4.5.1現在)

学校名	生徒数	教員数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)
			校舎	室内運動場	
平成さくら支援学校	70	29	4,750	971	21,602

あおば支援学校概要

令和2年(2020年)4月に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とする特別支援学校小中学部である。普通科・一般学級を設置しており、小学部は1学年1学級、中学部は1学年2学級編制である。

「明るく なかよく おおらかに」を校訓とし、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育を行うことにより、将来の自立と社会参加のための基盤となる「生きる力」を育成する教育を進めている。

施設の概要

(令4.5.1現在)

学校名	児童生徒数		教員数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)
	小学部	中学部		校舎	室内運動場	
あおば支援学校	29	32	31	3,401		4,507

2校は、本市における特別支援教育の充実に向け、学校を含む関係機関や保護者に対して、研修及び教育相談等の拠点機能を担っている。

カ 専修学校

総合ビジネス専門学校概要

昭和24年(1949年)に創立して74年目を迎える。建学の精神は「無名にして有力 役に立つ人間」。卒業生は8,400名を超え熊本市を中心に地域の企業等で活躍している。全国に2校しかない「商業系公立専門学校」であり、手厚い就職支援により就職率は高い。

総合ビジネス科(専門課程2年)は、情報ビジネス、経理ビジネス、観光サービスの3コースがあり、「ビジネスに関する実践的で専門的な知識や技能を活用して、地域に根差し地域で活躍する人物を育成する」ことを教育目標とする。卒業時に「専門士」の称号を得て、短大卒と同等の待遇を受ける。

OA経理科(一般課程1年)は、主として社会人を対象に夜間に開講しており、ビジネスに必要な情報処理と簿記に関する基礎的な知識・技能を修得する。

施設の概要

(令4.5.1現在)

学校名	生徒数	教員数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)
			校舎	屋内運動場	
総合ビジネス専門学校	141	11	3,727		4,399

キ 校舎の整備状況

(令4.5.1現在)

区 分		校 舎 面 積 (㎡)				普 通 教 室 数				特 別 教 室 数			
		学校数	基準面積	保有面積	過不足面積	学校数	基準数	保有数	過不足数	学校数	基準数	保有数	過不足数
小学校	基準未満	53	283,871	230,721	△53,150	47	1,049	912	△137	36	380	257	△123
	基準以上	39	164,826	187,335	22,509	45	671	679	8	56	519	719	200
	合計	92	448,697	418,056	△30,461	92	1,720	1,591	△129	92	899	976	77
中学校	基準未満	21	131,410	110,049	△21,361	22	473	292	△181	11	164	126	△38
	基準以上	22	104,577	117,922	13,345	21	246	377	131	32	419	584	165
	合計	※43	235,987	227,971	△8,016	43	719	669	△50	43	583	710	127

※学校数は分校を含む

ク 屋内運動場の整備状況

(令4.5.1現在)

区 分		学 校 数	基 準 面 積 (㎡)	保 有 面 積 (㎡)	過 不 足 面 積 (㎡)
小学校	基準未満	77	85,780	63,769	△22,011
	基準以上	15	14,598	15,590	992
	合計	92	100,378	79,359	△21,019
中学校	基準未満	30	37,858	29,910	△7,948
	基準以上	13	15,470	18,048	2,578
	合計	※43	53,328	47,958	△5,370

※学校数は分校を含む

(5) 特別支援学級設置状況 (総合支援課・教職員課)

(令4.5.1現在)

区 分	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学級数	児童数	教員数	学級数	生徒数	教員数	学級数	児童生徒数	教員数
知的障害学級	130	747	157	53	278	67	183	1,025	224
自閉症・情緒障害学級	143	823	170	80	474	92	223	1,297	262
肢体不自由学級	21	31	22	11	12	11	32	43	33
院 内 学 級	4	5	6	2	4	5	6	9	11
病 弱 学 級	11	15	11	11	14	12	22	29	23
弱 視 学 級	1	1	2	2	2	2	3	3	4
難 聴 学 級	6	15	6	5	8	5	11	23	11
合 計	316	1,637	374	164	792	194	480	2,429	568

(6) 中学校卒業者の進路状況 (指導課)

(令4.5.1現在)

進路別		区分	男	女	合計	比率 (%)
卒業生総数			3,336	3,103	6,439	100
進学者	高等学校 の本科	全日制	3,094	2,879	5,973	92.76
		定時制	25	15	40	0.62
		通信制	118	170	288	4.47
	高等専門学校		69	12	81	1.25
	合計		3,306	3,076	6,382	99.1
専修学校・各種学校 公共職業訓練施設等		9	7	16	0.25	
就職者 (含自家営業)		8	3	11	0.18	
無業者		2	3	5	0.08	
未定		11	14	25	0.39	

(7) 熊本市奨学金制度 (指導課)

ア 目的 経済的理由により修学が困難な学生・生徒に対して、奨学金を貸し付け、社会に貢献し得る人材を育成する。

イ 貸付要件 次の要件をすべて満たす者

- ・熊本市に居住する者の被扶養者であること。
- ・学校教育法に規定する学校等（高校、高専、大学、短大、専修学校の高等課程及び専門課程）に在学していること。
- ・経済的理由により修学が困難であると認められること。
- ・国、他の地方公共団体若しくはその他の団体からの奨学金（貸付けによるものに限る。）又はこれと同種の貸付けを受けていないこと。

ウ 貸付金額及び定数

区 分	定数 (人)	種別	貸付月額	自宅外通学生 加算額 (月額)	第1学年加算額 (初回のみ)
高等学校 高等専門学校 専修学校 (高等課程)	380	国・公立	18,000円	—	50,000円
		私 立	30,000円		100,000円
大学 短期大学 専修学校 (専門課程)		国・公立	42,000円	6,000円	150,000円
		私 立	51,000円	10,000円	200,000円

注1 加算は、申請に基づき付加する。

注2 申請により、貸付月額を2分の1に相当する額に減額することができる。

エ 貸付期間 在学する学校等の正規の修学年限

オ 返 還 奨学金の貸付終了後、決められた期間内で、貸し付けを受けた総額を年賦・半年賦・月賦のいずれかの方法で返還する。(無利子)

教育

(8) 熊本市高校等進学支援金（指導課）

- ア 目的 高校等に進学する生活困窮者等を対象に進学支援金を支給し、経済的負担の軽減を図る。
- イ 支給要件 次の要件を全て満たす者
- ・高校等への進学を希望し、翌年度に高校等へ入学すること。
 - ・熊本市内に居住していること。
 - ・生活保護を受給していること、又は市町村民税の所得割が非課税の世帯であること。
 - ・これまで熊本市高校等進学支援金の支給を受けていないこと。
 - ・熊本市暴力団排除条例に定める暴力団員及び暴力団密接関係者ではないこと。
- ウ 支給金額 40,000円（一律）※返還不要
- エ 支給時期 原則、高校等入学前に支給

(9) 就学援助費 (指導課)

経済的理由によって就学困難と認められる児童及び生徒について、就学に必要な費用を援助することにより、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

認定率・援助総額の推移

区分		年度		H29		H30		R1		R2		R3	
		小学校	中学校	小学校	中学校								
児童生徒数 (人)	小学校	40,747	60,321	41,045	60,122	40,922	59,854	40,704	59,748	40,754	60,112	19,358	
	中学校	19,574		19,077		18,932		19,044					
認定者数 (人)	小学校	6,005	9,326	5,785	8,981	5,655	8,838	5,669	8,898	5,524	8,801	3,277	
	中学校	3,321		3,196		3,183		3,229					
認定率 (%)	小学校	14.7	15.5	14.1	14.9	13.8	14.8	13.9	14.8	13.6	14.6	16.8	
	中学校	17.0		16.8		16.8		17.0					
援助総額 (千円)	小学校	428,111	807,297	423,597	798,354	401,710	763,174	409,937	767,181	399,652	776,251	376,599	
	中学校	379,186		374,757		361,464		357,244					

令和3年度(2021年度)支給実績

(単位 円)

学用品費等	小学校		援助総額	中学校		援助総額
	1年	2~6年		1年	2・3年	
	13,230	15,500	80,756,675	25,040	27,310	85,332,622
補助教材費	5・6年	4,000	7,782,279			
新入学児童生徒学用品費	3年度入学前支給 51,060		39,825,420	3年度入学前支給 60,000		64,740,000
修学旅行費	実費		23,382,893	実費		56,988,421
通学費	実費		31,560	実費		113,580
医療費	実費		3,850,124	実費		1,444,491
学校給食費	実費		239,452,980	実費		165,632,332
校外活動費	実費		4,570,591	実費		2,347,391
合計			399,652,522			376,598,837

(10) 私学助成 (指導課)

(単位 千円)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
高等学校 中学校	29,999	29,999	29,999	28,836	23,999

(11) 国際交流の推進

アメリカ合衆国サンアントニオ市(姉妹都市)との交換留学制度(青少年教育課)

ア 熊本市からの派遣(令和3年度(2021年度))

派遣人員	在籍校	派遣先
高校生 0名	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校	セントアンソニーカトリック高校 インカーネットワーク高校

イ サンアントニオ市からの受入(令和3年度(2021年度))

受入人員	在籍校	受入先
高校生 0名	セントアンソニーカトリック高校 インカーネットワーク高校	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校

※令和3年度(2021年度)については、新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣・受入ともに中止

教育

(12) 学校給食（健康教育課）

ア 実施状況

(令4.5.1現在)

区分	種類	実施校数	児童生徒数	給食費	給食関係職員	
					栄養教諭等	給食技師等
小学校	完全給食	92校	40,673人	1食単価243円	49人	84人
中学校	完全給食	42校	19,418人	1食単価295円	19人	0人

イ 学校給食共同調理場

(令43.5.1現在)

施設名（開設年月）	所在地	対象校
東共同調理場（昭48.4）	東区東町3丁目3番2号	東野中、錦ヶ丘中、東町中、桜木中
西原共同調理場（昭53.4）	東区保田窪4丁目9番1号	西原中、帯山中
城西共同調理場（昭53.4）	西区小島8丁目17番1号	城西中、三和中、鮑田中、県立かがやきの森支援学校
京陵共同調理場（昭54.4）	中央区京町本丁1番14号	京陵中、竜南中、白川中、藤園中
日吉共同調理場（昭54.9）	南区日吉1丁目4番50号	花陵中、江南中、江原中、力合中、平成さくら支援学校
武蔵共同調理場（昭56.4）	北区武蔵ヶ丘4丁目19番1号	武蔵中、清水中
出水南共同調理場（昭58.4）	中央区出水7丁目86番1号	出水南中、出水中、湖東中、託麻中
井芹共同調理場（平2.6）	西区上熊本3丁目28番25号	井芹中、西山中、北部中
長嶺共同調理場（平5.4）	東区長嶺南7丁目21番40号	長嶺中、二岡中、東部中
龍田共同調理場（平6.4）	北区龍田7丁目9番16号	龍田中、楠中、桜山中
城南共同調理場（平8.4）	南区八幡8丁目1番1号	城南中、日吉中、富合中
富合共同調理場（平11.3）	南区富合町清藤472番地	富合小、鮑田東小
植木共同調理場（平19.3）	北区植木町広住342番地1	鹿南中、五霊中、植木北中、植木小、菱形小、桜井小

(13) 熊本市学校給食会（健康教育課）

名称	公益財団法人 熊本市学校給食会
事務所の所在地	中央区新町2丁目4番27号 熊本市健康センター新町分室2階
設立年月日	平成8年（1996年）4月2日
目的	学校給食法に基づき学校給食の普及・充実と食育推進に寄与するため、学校給食用の物資の適正・円滑な供給に努め、もって児童生徒の心身の健全な発達に資する。
事業	<p>学校給食用物資の適正円滑な供給及び食育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物資購入委員会、青果物査定会、食肉査定会の開催 ・ 市産品導入の推進 ・ 特別栽培（減農薬）農産物等の導入推進 ・ 学校給食交流会の支援 ・ 学校給食用物資の生産地視察 <p>学校給食の普及・奨励（改善・充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録業者工場視察及び学校給食用物資納入懇談会の開催 ・ 納入業者対象の食品安全衛生研修会の開催 <p>学校給食の実施に必要な調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食用物資の定期検査及び放射能検査 <p>その他目的を達成するために必要な事業</p>
基本財産	100,000千円

(14) 熊本市教育センター

ア 施設・設備の概要

所在地	中央区千葉城町2番35号
施設内容	5階 機械室 4階 大研修室 3階 第1研修室 第2研修室 第3スタジオ 第4スタジオ 2階 小研修室 中研修室 図書・資料室(管理班) 職員室(研修研究班・授業づくり支援班) 1階 第1スタジオ 第2スタジオ ICT支援室 所長室 事務室(教育情報班) 地階 機械室

イ 研究に関する事業

学校教育、社会教育に係る教育機関と協力し教育上必要とする調査研究等を行い、成果の普及に努める。

調査研究

① 研究員活動

本市の教育施策にもとづき、教科領域等の授業改善、今日的課題解決及び学校事務運営に関する研究に取り組み、成果を積極的に現場に提供することで熊本市教育の充実と振興に役立てる。

- ・ 令和3年度(2021年度)委嘱研究員 15部会50人(委嘱期間 令3.4~令5.3)
- ・ 検証授業の実施
- ・ 定例部会の実施
- ・ 研究発表会の実施(オンデマンド配信)

② 研究論文・教育実践募集

教職員の研究論文・教育実践を公募することにより、今日的教育課題の先進的研究や日々の教育実践の工夫・改善を促し、教職員の資質向上及び本市教育の充実・発展を図る。また、研究や実践の成果を広め、活用することにより、本市の発展に寄与する。

- ・ 募集期間 令和5年(2023年)1月5日~1月12日(予定)
- ・ 各部門ごとに表彰を行う。

情報提供

① 資料の管理

熊本市教育センターに保管している書籍、教科書、研究紀要、指導案等の教育資料を管理し、学校現場等に貸し出すことで、学校教育及び社会教育の充実に資する。

- ・ 指導案、研究紀要の収集、保管、提供(データベース化)
- ・ 教育に関する書籍や教育資料の収集・整理及び閲覧・貸出

② 教材・機器の管理・貸出

授業及び学校行事等で使用する教育機器の貸出・管理、学校等における教育活動の支援を行う。

- ・ 拡大印刷による教材作成
- ・ プロジェクター、スクリーン等の貸出

教科書センターに関する事業

教科書センターは、教職員に対しては、教科書の調査研究の支援、学習指導のための資料提供、教科内容の常時研究に資するため、小学校及び中学校、高等学校用の教科書を備え、利用に供することを目的とする。また、市民に対しては、教科書や教科に対しての理解を深めることを目的とする。

- ・ 熊本県主催教科書展示会 令和4年(2022年)6月1日~6月14日

教育

各教育研究所との連携

熊本県立教育センター、熊本県教育研究所連絡協議会、九州地区教育研究所連盟、指定都市教育研究所連盟、全国教育研究所連盟との連携を深め、研究成果を共有する。

ウ 研修に関する事業

研修を通して教職員のマネジメント力・実践的指導力・教師としての基盤の向上を図る。

○ J T 推進（現場で実際の業務を通じて学ぶ）研修

- ・ 研究員活動
- ・ 派遣（パッケージ）研修
- ・ 教育情報の配信・提供
- ・ 授業力向上支援員派遣研修

S D（自己啓発）活性化支援研修

- ・ コーチング研修（1講座）
- ・ 子どもの望ましい叱り方研修（1講座）
- ・ 教育の情報化研修（14講座）
- ・ 特別支援教育研修（4講座）
- ・ Talk Room（4月から随時開催）
- ・ 教師塾「きらり」（ベーシック研修、アドバンス研修）

○ F F - J T（学校外）研修

- ・ 経年者研修
初任者研修（幼稚園教諭9講座、小中学校教諭7～8講座、高校教諭18講座※県立センター研修含む、養護教諭12講座、栄養教諭10講座、事務職員2講座）
教職員1年目研修（6講座）
初任校2年目研修（5講座） 初任校3年目研修（5講座）
中堅教諭等資質向上研修（9講座）
15年経験者研修（4講座）
新規臨任研修（4講座） 2年目臨任研修（3講座） 3年目臨任研修（2講座）
「初めての学級担任」 臨任研修（1講座、インターネット配信）
臨任専門研修（養護助教諭2講座・学校栄養職員（臨時）2講座・幼稚園講師2講座）
- ・ Kumamoto Education Week2022-23
- ・ 職能研修（14講座）
教育の情報化研修（4講座）
幼小合同研修（1講座） 新任管理職【校長・園長】（6講座）、【教頭】（5講座）

エ 教育委員会の情報施策の推進に関する事業

教育委員会におけるICT活用及び情報機器の整備を通して、教育の情報化推進に取り組む。

教育の情報化に関すること

- ・ 教育の情報化推進に向けての企画調整
- ・ 学校におけるICT環境整備
- ・ ICT活用研究モデル校（2校）による研究
- ・ 校務の情報化推進のための調査研究
- ・ オンライン授業の実施手順、環境の整備
- ・ 教育の情報化に関するホームページ、YouTubeチャンネル、Facebook等による情報発信

研修プログラムの開発

- ・タブレット端末、電子黒板、プログラミング教材等のICTのよさを生かした授業づくり研修及び校内研修支援のためのパッケージ研修の開発
- ・情報活用能力育成のための研修の開発
- ・情報モラル教育の啓発と普及研修の開発
- ・情報モラル教育推進リーダー研修の開発

教育の情報化研修講座

- ・教育の情報化に関する研修講座の実施
パッケージ研修、オンライン研修による教科等指導におけるICT活用、児童生徒の情報活用、情報モラル教育等の校内研修支援

教育情報ネットワークの企画管理運用

- ・ネットワークの運用管理及び次期ネットワークの検討、整備
- ・情報端末管理（教員用ノートパソコン・タブレット端末等）
- ・教育センターホームページ運営
- ・ICT支援員による授業支援、校内研修等の支援、メンテナンス

情報セキュリティ

- ・情報セキュリティ対策基準、実施手順の運用及び見直し
- ・学校等のセキュリティ研修

オ 授業づくり支援に関する事業

授業づくり支援訪問等を通して、教職員の授業力向上の支援を目指す。

授業づくり支援訪問・学校担当制

- ・計画訪問 2年ローテーションで全小中学校を訪問
- ・随時訪問 学校との情報交換のために、担当者が月1回程度訪問
- ・要請訪問 学校の要請に応じ、授業参観や校内研修等に参加し、学校と連携して諸課題に対応

各教科等研修の実施

- ・小中学校授業研究会 ・教育課程研究協議会（7月、2月 オンデマンド配信）
- ・体育実技研修会 ・道徳教育推進研修会 ・理科実験事故防止研修

校内研修の支援・研究モデル校の実施・授業力向上支援員の派遣**心かがやけ月間（道徳）の実施**

4 図書館

本市では、熊本市立図書館を中心とし、分館3館（植木図書館、城南図書館、とみあい図書館）、くまもと森都心プラザ図書館、15公民館図書室、男女共同参画センターはもに、議会図書室及び移動図書館による図書サービスネットワークを構築し、図書サービスの向上に努めてきた。

また、市全体での図書サービス業務の改善や取り組みの方向性を整理した「図書サービスのあり方について」を平成27年（2015年）3月に策定し、より市民に利用される図書館となるよう図書サービスの向上に取り組んでいる。加えて、令和元年（2019年）11月には電子図書館を開設し電子書籍の貸出サービスを開始した。

主な実施事業

資料の充実：熊本市立図書館、分館、くまもと森都心プラザ図書館、公民館図書室の選書購入を一元的に行い、各図書館の機能や公民館図書室の利用傾向等を考慮した資料を収集した。
契約時期を見直し、図書購入事務を迅速化することにより、早期の図書提供を実施した。

サービスの充実：熊本連携中枢都市圏ビジョンに基づく「図書館における圏域住民の相互利用」において連携する市町村との相互利用を実施した。

電子図書館にて電子書籍の閲覧サービスを提供した。

市の図書搬送ネットワークに熊本県立図書館を加え、市立図書館等において県立図書館蔵書の貸出・返却が出来るサービスを令和3年（2021年）1月から開始した。

子どもの読書推進：乳幼児期、小学校低学年・中学年・高学年及び中学生向けの良書を紹介した冊子等を作成・配布し、掲載図書の学校へのセット貸出等を実施した。

各学校が授業等で必要とする図書のリクエストに応じ、市立図書館や公民館図書室、他校にある図書の貸出を行った。

ア 施設

所在地 中央区大江6丁目1番74号

開館年月 昭和57年（1982年）11月

施設の概要 一般閲覧室、児童室、郷土・参考資料室、移動図書館車、ホール、集会室、ロビー、学習室

イ 蔵書数

【単位：冊】（令4.3.31現在）

	0：総記	1：哲学	2：歴史	3：社会	4：自然	5：技術	6：産業	7：芸術
市立図書館	19,309	20,407	52,552	73,073	38,918	33,817	17,553	44,122
市立BM	9	137	81	84	172	354	125	98
植木図書館	1,117	2,705	4,895	8,394	4,894	4,935	2,035	3,965
植木BM	14	40	67	49	78	177	48	61
城南図書館	1,565	4,433	6,360	10,846	9,651	8,887	3,263	7,493
城南BM	32	55	66	107	107	171	68	99
とみあい図書館	1,399	2,478	4,351	6,845	6,596	7,563	2,408	5,776
プラザ図書館	10,518	20,695	28,933	70,726	32,921	35,924	18,996	32,672
東部	392	843	2,019	1,973	2,456	2,468	693	2,066
龍田	377	939	2,320	2,435	2,660	2,653	873	2,682
託麻	480	788	1,996	2,195	2,622	2,703	759	2,606
幸田	296	806	1,569	2,014	2,432	2,998	814	2,058
中央	241	572	976	1,392	1,556	2,012	486	1,354
清水	302	888	1,675	1,879	2,228	2,359	574	2,015
秋津	348	1,025	1,980	2,319	2,467	2,934	799	2,974
南部	319	1,069	1,651	2,049	2,473	3,187	768	2,468
花園	264	810	1,933	1,577	2,252	2,781	639	2,112
北部	287	548	1,161	1,338	1,543	2,094	445	1,283
河内	312	698	1,247	1,563	2,001	2,465	696	1,850
天明	328	660	1,046	1,541	1,655	2,216	642	1,655
鮎田	513	1,005	1,982	2,279	2,609	3,282	1,058	2,630
西部	329	847	1,697	1,859	2,479	3,042	830	1,917
五福	153	445	930	1,146	1,409	1,895	430	1,200
はあもにい	0	0	0	1	0	0	0	0
電子図書館	542	753	1,524	1,974	1,530	2,283	437	1,560
合計	39,446	63,646	123,011	199,658	127,709	133,200	55,439	126,716
比率（%）	2.4%	3.9%	7.5%	12.1%	7.8%	8.1%	3.4%	7.7%

※BM・・・移動図書館

教育

	8 : 語学	9 : 文学	F : 小説	E : 絵本	紙芝居	コミック	その他	総数
市立図書館	8,991	95,564	93,187	62,841	3,037	2,184	102	565,657
市立BM	3	362	1,752	357	28	0	0	3,562
植木図書館	905	7,528	15,486	9,160	766	1,593	0	68,378
植木BM	14	151	564	0	0	3	0	1,266
城南図書館	2,419	10,577	19,411	10,701	264	171	8	96,049
城南BM	47	204	602	161	15	0	0	1,734
とみあい図書館	1,194	23,363	22	9,196	155	829	70	72,245
プラザ図書館	8,243	38,107	43,889	16,033	0	1	702	358,360
東部	419	3,722	7,921	7,524	45	0	0	32,541
龍田	526	4,566	7,841	5,385	20	0	0	33,277
託麻	414	4,803	7,669	5,530	0	0	0	32,565
幸田	530	3,866	8,895	5,577	91	41	1	31,988
中央	292	2,221	3,433	2,085	0	74	0	16,694
清水	370	3,535	7,475	6,109	23	2	0	29,434
秋津	427	4,478	8,930	5,759	62	3	0	34,505
南部	417	4,256	9,637	5,683	33	11	0	34,021
花園	401	4,760	9,589	5,573	272	1	0	32,964
北部	242	2,860	7,276	4,664	0	0	0	23,741
河内	309	2,809	7,062	4,520	0	22	0	25,554
天明	330	2,662	7,848	4,036	121	0	0	24,740
鮎田	511	3,976	8,203	5,897	97	37	0	34,079
西部	417	3,181	8,743	5,826	83	4	0	31,254
五福	275	1,756	5,035	3,709	43	3	0	18,429
はあもにい	0	0	0	0	0	215	19,276	19,492
電子図書館	1,273	4,264	6,388	530	0	193	232	23,483
合計	28,969	233,571	296,858	186,856	5,155	5,387	20,391	1,646,012
比率 (%)	1.8%	14.2%	18.0%	11.3%	0.3%	0.3%	1.2%	100%

※視聴覚資料の蔵書数（13,641点）、雑誌（20,525冊）は含まない。

※その他 新聞18紙 雑誌403誌（購入のみ）

ウ 利用案内

図書の貸出

区 分	貸 出 冊 数		貸出期間	登 録 要 件
個人貸出	熊本市立図書館 植木図書館 とみあい図書館 城南図書館 プラザ図書館 公民館図書室 はあもにい 議会図書室	全館（室）合 わせて一人10冊 以内	2週間	市内に居住か通勤、通学及び図書資 料の貸出に関する協定を締結してい る市町村にお住まいの方 登録者数 275,554人 (令和4年(2022年)3月31日現在)
	移動図書館		次回巡回日まで	
	電子図書館	一人3点以内	2週間	
団体貸出	家庭文庫、子ども会、 公民館、学校 等	一回に300冊まで	2ヵ月	市内の地域団体、社会教育団体、 その他これらに類する団体等

視聴覚資料及び機材の利用

	対 象	資料及び機材	利 用 方 法
個人視聴	個 人	ビデオソフト・DVD	1F・閲覧室で利用 (視聴覚ブース：一般席・児童席各1席)
団体貸出	市内の幼・保育園・学校・ 社会教育団体・地域団体等	16ミリ機材・フィルム ビデオソフト・デッキ 映写機、スクリーン 暗幕必要枚数・プロジェクター	資料：5巻以内 機材：1台 貸出期間：3日間

エ 利用状況

図書の利用状況（令和3年度（2021年度））

区 分	市立図書館 (BM含)	植木図書館 (BM含)	城南図書館 (BM含)	とみあい 図書館	プラザ 図書館	公民館図書室		
						東 部	龍 田	託 麻
登録者数(人)	127,287	10,876	10,326	6,425	40,577	11,809	7,412	8,478
貸出者数(人)	279,247	40,193	47,876	29,188	111,213	46,865	23,724	24,636
貸出冊数(冊)	1,007,751	205,493	219,908	130,139	382,854	129,206	73,119	87,023

区 分	公民館図書室							
	幸 田	中 央	清 水	秋 津	南 部	花 園	北 部	河 内
登録者数(人)	7,434	2,550	7,878	5,754	5,648	5,140	3,336	872
貸出者数(人)	18,725	13,712	23,123	18,451	13,209	17,419	8,407	2,254
貸出冊数(冊)	54,818	36,131	72,212	63,842	40,162	56,832	25,932	6,722

区 分	公民館図書室				はあもにい	議会図書室	電子図書館	計
	天 明	飽 田	西 部	五 福				
登録者数(人)	1,294	2,964	6,385	1,899	1,210	0	0	275,554
貸出者数(人)	2,321	8,675	14,580	6,852	7,377	2,933	204,080	965,060
貸出冊数(冊)	6,305	29,594	49,153	19,058	18,102	5,243	204,080	2,923,679

(注) 団体貸出冊数を含む。 ※BM・・・移動図書館

視聴覚コーナー利用状況（令和3年度（2021年度））

区 分	ビデオ	DVD	合 計
利用者数(人)	95	93	188
保有数量(枚・本)	1,278	680	1,958

視聴覚機材貸出状況（令和3年度（2021年度））

区 分	16ミリ フィルム	16ミリ 映写機	ビデオ	ビデオ プレイヤー	DVD	DVD プレイヤー	プロジェク ター
利用者数 (団体)	13巻	4台	3本	1台	11本	4台	6台

(視聴覚コーナー及び視聴覚機材貸出は新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用を制限)

5 熊本博物館

熊本博物館は、昭和27年に熊本城内に設置され、勸業館時代を経て昭和53年に現在の場所に開館した。平成27年から着手した全面改修を終え、平成30年にリニューアルオープンし、自然科学・人文科学部門にプラネタリウムを加えた総合博物館として、郷土文化の発展に寄与することを目的とし、熊本に関する資料を中心に収蔵・展示を行っている。

(1) 概要

ア 施設

所在地 中央区古京町3番2号

イ 展示室

①常設展示室

半世紀を超える運営によって形成された膨大な記録・記憶の蓄積がある常設展示室では、全体テーマを『未来へつなぐ熊本の記憶 集める・伝える・創造する』とし、国指定重要文化財の「才園古墳出土品」と永青文庫所蔵の「細川家舟屋形」の展示など、熊本の歴史や文化、人と自然との深いかかわりを示しながら各分野間のつながりを意識した展示を行い、長い時間を経た知の蓄積を市民へ楽しくわかりやすく伝え、未来へ継承することを目指している。また、県市連携展示室を設け、熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する貴重な資料も展示し、市・県内外へ展示内容の価値や魅力をアピールしている。

②特別展示室

重要文化財等の展示に対応した三つの特別展示室が整備されている。特別展示室3はフレキシブルな展示が可能である。

ウ 館内展示風景（常設展示）



(2) 活動状況（令和3年度（2021年度））

ア 特別展

展示会名	期間	来館者数
夏季特別展 銀河鉄道の夜 -KAGAYA 星空の世界展-	7/17~9/5	8,417名

イ 企画展

展示会名	期間	来館者数
震災をふりかえる -大地とモノが語る熊本地震-	3/20~4/25	※3,304名
未来へつなぐ植物の記録 -令和2年7月豪雨で被災した前原勘次郎の植物標本-	10/2~11/28	12,794名
能楽伝承-熊本の能文化-	12/18~2/13	7,231名
収蔵品展「くまはくコレクション 肥後のやきもの」	3/12~5/8	※1,197名

※R3年度分の来館者

ウ 共催展

展 示 会 名	期 間	来館者数
くまもと市 遺跡発掘速報展2021	12/11～2/20	9,174名

エ その他の展示

行 事 名	期 日	参加者数
地球・リュウグウ・そして新たな旅路へーはやぶさ2帰還カプセル特別公開ー	2/25～3/1	3,153名

オ プラネタリウム

行 事 名	期 日	参加者数
一般放映番組 「天球のものがたり」 他 ファミリーアワー/幼児団体向け放映 「みちしるべのほし～ユータとうみがめのものがたり～」 他 学習放映 「星が見てきた KUMAMOTO」 他	4月～3月	36,589名
字幕付きプラネタリウム	7/3他3回	310名
特別放映 熟睡プラ寝たリウム	11/23	220名
天文講演会 「希望と喜びをお届け！宇宙ステーション補給機こうのとりに」	11/13	47名
天文講演会 「日本の太陽系探査続々とーメンバーが語る魅力」	2/6	51名
天文講演会 「宇宙旅行の過去と将来～宇宙旅客機の実現性～」	2/27	85名

カ 通年講座

講 座 名	回 数	参加者数
考古学講座	12回	87名
地質学講座	3回	41名
動物学講座	3回	45名
植物学講座	3回	56名
保存科学講座	4回	30名

キ その他の事業及び行事等

行 事 名	期 日	参加者数
子ども科学・ものづくり教室 (23 回開催)	4月～3月	898名
ゲストティーチャー派遣授業 (お出かけ事業 : 27 校実施)	6月～2月	1,116名
館内学習支援活動 (お迎え事業 : 31 校実施)	7月～3月	1,764名
講師派遣 (17 回開催)	5月～1月	557名
教職員研修 (2 回開催)	8月	13名
博物館実習生受け入れ	8/25～8/30	26名
天体観察会 (2 回)	11月～12月	1,130名
熊本地震シンポジウム	4/25	90名
サタデーナイトミュージアム (夏季)	7/24、7/31	1,241名
サタデーナイトミュージアム (秋季)	11/20、27、12/4	1,942名

ク 入場・プラネタリウム観覧 (R3. 4. 1～R4. 3. 31)

入場者	区分	入場者数
一般	個人	20,667 名
	団体	264 名
	年間入場券	555 名
	無料	11,231 名
	小計	32,717 名
高大生	個人	2,892 名
	団体	26 名
	年間入場券	17 名
	無料	125 名
	小計	3,060 名
小中学生	個人	3,717 名
	団体	1,231 名
	年間入場券	16 名
	無料	12,651 名
	小計	17,615 名
未就学児	無料	7,380 名
合計		60,772 名

プラネタリウム	区分	観覧者数
一般	個人	17,202 名
	団体	50 名
	無料	1,003 名
	小計	18,255 名
高大生	個人	2,067 名
	団体	1 名
	無料	10 名
	小計	2,078 名
中学生以下	個人	9,576 名
	団体	1,036 名
	無料	6,174 名
小計		16,786 名
合計		37,119 名

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R3. 4. 27～6. 28 まで休館。

(3) 資料

資料分野	資料点数
地質	20,846
動物	65,833
植物	16,964
理工	137
考古	10,230
歴史美工	17,121
民俗	14,449
合計	145,580

ア 人文科学関係

考古資料では、国指定重要文化財のあさぎり（旧免田）町才園古墳の出土品（寄託品）、元熊大医学部長故山崎正董博士の古瓦コレクションなどがある。歴史資料では、加藤清正関係資料、細川氏関係資料のほか、近世期古文書類、西南戦争関係資料などがある。美術工芸資料では、重要文化財の木造東陵永瑛禅師倚像（管理団体：熊本市）などがある。民俗資料では、元熊本商大学長故丸山学氏の寄贈資料をはじめ県内各地から幅広く民具を収集している。

イ 自然科学関係

哺乳類・鳥類・魚類・昆虫・植物・古生物化石類など、熊本県産の実物標本を中心とした資料があり、屋外展示場には9600形蒸気機関車（69665号機）の実物がある。

岩石・鉱物資料では、元熊大教授故松本唯一博士が全世界から採集されたコレクション、貝類では元熊大医学部長故山崎正董博士のコレクション、昆虫では故古賀三郎氏の世界の蝶コレクションなどがある。

ウ プラネタリウム

ドーム直径16m、座席数180席、光学式プラネタリウム「クロノスⅡ」と全天周映像システム「バーチャリウムⅡ」の組み合わせにより、自然の星空を忠実に再現するほか、遠い宇宙の果てまでの姿を観測データを基に高精細に描き出し、ドームいっぱいに大迫力の映像を投射する。